

「日本地域政策研究」

バックナンバー1冊2,000円にて販売しております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

第6号 (2008・3)	
論 説	
コンパクトシティへの社会統合的空間の位置づけ —高崎市民会議提言を例証として—	池田 俊憲
郊外立地小売業の地域社会における貢献	石川 和男
フィーダー交通の展開によるコンパクトなまちづくりの可能性	稲垣 昌茂
廃棄物トレーサビリティシステム導入による 法制度変化の方向性に関する考察—ELVを事例に—	大村 道明・劉 庭秀 車 佳
市民運動の質的变化—市民活動との連続性の観点から—	勝田 美穂
中山間地域の高齢者と在宅ケアについての研究	小磯 明
地産地消の進展と農産物直売所の課題	小柴 有理江
日本文化の「立居振舞」に関する研究 —「利き目」から見た「和服」に関する左右の身体文化論として—	駒倉 榮一
自治体を核とした企業・大学・NPOとの地域連携の類型に関する研究 —市民参加概念から見た地域連携の構造的把握—	佐藤 徹 爲我井 慎之介
農業・農村体験交流の2つの型 —長野県における類型差の要因と展望—	佐藤 真弓
地域における環境教育政策の実践—日韓の中学の比較分析を中心に—	佐藤 優子・劉 庭秀
地域商業振興政策における政策主体としての商業者の役割 ～山科地域商業ビジョン策定過程を事例に～	滋野 浩毅
絶滅危惧種の保全に対する利害関係者の認識の違い —礼文島のレブンアツモリソウをめぐる—	庄司 康・八巻 一成 愛甲 哲也
長野県高森町商工会による直接金融の試み —少人数私募債発行を事例として—	上西 英治
地域社会における消費者教育・啓発の意義と課題 —ロールプレイング等を踏まえて—	杉村 千佳
韓国における理工系教育の展開と日本の役割	趙 承勲
リゾート・ホテルの変遷—宿泊と飲食の変遷、文化との関わり—	徳江 順一郎
大都市における一般廃棄物処理政策の動向と実態分析 —廃プラスチックの収集・処理およびリサイクル政策を中心に—	戸敷 浩介・劉 庭秀 寺島 三和
タイにおける公的補助金に頼らない民間レスキュー部隊の長期的活動 —我が国における民間主体のレスキュー・システムの可能性—	中山 三照
韓国伝統菓子の地域観光ブランド化の現状と課題	朴 恩我・李 良姫
新設合併に伴う高齢者福祉サービスの調整と住民利用 —群馬県みなかみ町を事例に—	畠山 輝雄
パートナーシップ政策をめぐる政府間・官民関係	原田 晃樹

地方都市近郊における水環境の変遷—群馬県井野川を事例として—	武藤 完一
地域ファンドと地域経済の再生	山崎 美代造
日韓の自動車リサイクル制度を巡る議論と課題	劉 庭秀・大村 道明 吉村 慶一・車 佳
中国における環境税導入の可能性 —北京市でのアンケート調査とドイツの実例—	林 雅
研究ノート	
農業と観光が連携した農村活性化の課題と展望 —日光市を事例として—	大島 一夫
企業の農地集積と地域振興活動	大仲 克俊
地域課題を解決する地域づくりコーディネーターに関する研究	織田 直文
北海道農業における民間金融と農業ビジネスの課題 —金融が農業に問いかけるもの—	北崎 寛
都市部と農村部の共生で成り立つ広域合併都市・上越市経済の再構築	櫛笥 千恵
マイレール運動にみる新しい公共性の視座	古平 浩
新しい地域情報化指標構築における基礎的研究	小林 純
首都圏外郭地帯における中核都市のマンション立地特性	鈴木 智
「倉賀野の歴史や文化をテーマにした 博物館（コミュニティ・ミュージアム）に関するアンケート調査」の分析	土屋 正臣
アジアン・デザインの新潮流	辻 量太
「政令指定都市の財務面での特徴と持続可能性」	中村 研二
ビジター産業を活かした上越市直江津中心市街地の再生	野崎 隆夫
景観法に基づく景観行政の制度設計に関する研究	橋本 隆・湯沢 昭
自治体政策評価の個人レベルでの活用におけるグループ評価の有用性に関する考察	福嶋 隆宏
近世後期の在郷町における飛脚利用 —上野国桐生新町名主の役目日記にみる—	巻島 隆
地域イベント参加満足度に関する研究 —韓国固城エキスポを事例に—	李 良姫
グリーン・ツーリズムのマーケティング—片品村の事例を中心に—	若林 憲子
展 望	
市街地土壌汚染問題に関する研究と地域的アプローチの提唱	石原 肇
昆虫食文化の実態と多様性に関する研究 —昆虫栄養学からのアプローチ—	田路 佳生